

並行在来線経営計画

～経営委員会における検討結果～

平成22年11月25日

新潟県並行在来線開業準備協議会

目次

I. 並行在来線とは	1
1. 並行在来線って何のこと？	1
2. どんな目的で利用されているの？	2
3. 並行在来線はどんな役割を担っているの？	3
(1)日常生活を支える交通手段です	3
(2)全国的な物流ネットワークの一翼を担っています	3
(3)広域的な交流ネットワークの形成に役立っています	4
(4)鉄道の優れた特性によって、地域に様々な貢献をしています	4
II. 新潟県の並行在来線の3つの特徴	5
1. 特徴1	5
○隣接他県の沿線地域に比べ人口規模が小さい地域です	5
2. 特徴2	7
○性格の異なる2つの路線(北陸本線と信越本線)を抱えています	7
3. 特徴3	7
○2つの路線それぞれで現在運行している会社が異なります	7
III. 並行在来線は存続・維持が必要	8
IV. みんなで支えます	9
1. 並行在来線を運営する鉄道会社を設立します	9
2. 経営会社のあるべき姿	9
(1)地域と共に歩む公共交通機関	9
(2)地域の暮らしと経済を支える公共交通機関	9
(3)安全性と健全経営	9
3. 経営区間	10
4. 会社の基本的な経営スタイル	10
(1)単独経営	10
(2)上下一体方式	11
(3)現状の線路形態を維持	11
5. 経営会社の設立時期	12
6. 営業開始時期(見込み)	12
V. 事業の方向性	13
1. 運行	14
(1)普通列車の運行本数	14
(2)相互直通運転	14
(3)JRの優等列車(特急・快速列車)の存続	14

2. 車両	15
(1)必要となる車両数	15
(2)列車の動力(電車の継続かディーゼル車の導入か)	16
(3)車両の調達	16
3. 施設	17
(1)拠点施設などの整備	17
①本社	17
②設備基地	18
③運輸基地	18
④指令センター(指令システム)	18
(2)その他の施設・設備の取扱い	19
①デッドセクションの取扱い	19
②新駅の設置	19
4. 要員	20
(1)要員数	20
(2)組織体制(想定)	20
(3)要員の確保及び育成	21
①開業前～開業時	21
②開業後	21
5. 投資・損益	22
6. 資金	24
(1)資本金	24
①総額	24
②出資予定者	24
③出資比率・出資金額	25
(2)投資に係る基本的な考え方	26
(3)毎年の赤字への対応	26
①更なる経費節減と多角経営の検討による収支改善努力	26
②国への要望	26
VI. 利用促進	28
1. 利用促進に向けた取組の方向性	28
(1)鉄道を利用したまちづくり	28
(2)鉄道を愛し支える人づくり	28
(3)魅力的なまちづくり	28
(4)利用しやすい鉄道づくり	28
2. 利用促進計画推進に向けた体制づくり	29
VII. 維持・存続のための取組	30
1. 関係者会議の開催	30
2. 経営情報の適切な発信(広報活動)	30
参考1	31
参考2	32